

安全だより

無事故・無災害を目指して

2020年度(令和2年度)第4号

発行日：2021年(令和3年)3月25日
発行：福山市新涯町二丁目21番30号
公益社団法人福山市シルバー人材センター
安全委員会
TEL (084) 953-5222
FAX (084) 953-5233

- 【3月】作業前には、作業機械・器具の点検整備を確実に行う。
- 【4月】作業前には、必ず作業手順・安全就業について、打合せする。
- 【5月】防石ネット等を活用し、飛石事故防止対策を講じる。

◇2020年度(令和2年度)総括

(1) 傷害事故、賠償事故ともに減少

本年度の事故発生件数は、3月22日の時点で傷害事故7件、賠償事故12件、合計19件となり、昨年度の29件から10件(傷害事故は8件、賠償事故は2件)減少しています。

年度	傷害	(途上・ 帰途)	賠償	合計
2016	12	(3)	8	20
2017	9	(2)	7	16
2018	13	(6)	12	25
2019	15	(2)	14	29
2020	7	(0)	12	19

(2) 発生状況

傷害事故について

本年度は、2011年度以来初めて、就業途上・帰途の傷害事故が0件となりました。また、就業中の傷害事故は昨年度より減少しております。引き続き、交通事故防止の徹底と、転落や転倒事故防止の対策を徹底しましょう。

賠償事故について

賠償事故についても、事故件数は減少しましたが、全てが剪定と草刈作業中の事故となっています。特に2月から3月にかけて、立続けに3件バリカンによる切断事故が発生しています。気のゆるみによる

事故ではないかと思われませんが、作業前に必ず引込線の有無を確認し、引込線の付近を剪定する場合は慎重に注意して作業に当たってください

◇事故発生状況について

【傷害事故7件 賠償事故12件】

前号以降に発生した、傷害事故3件と賠償事故5件の状況は次のとおりです。

◎傷害事故

①	11月19日(剪定作業)「落下事故」 三脚の開き止めチェーンが外れ、脚が開き倒れたため落下し、右足を負傷したものの。
②	12月8日(伐採作業)「切傷事故」 伐採した木の枝を手ナタで払っていたところ誤って左手に当たり負傷したものの。
③	2月9日(草刈作業)「転倒事故」 法面で草刈中に後退したところ、側溝に足が落ち転倒し右足を負傷したものの。

傷害事故の①は、作業前に、開き止めチェーンなど作業機械・器具の点検整備を確実に行うことで防ぐことができます。②は、左手の位置をナタで切断する枝から離れた位置を持つことで防ぐことができました。③については、側溝の位置を的確に把握し、目視をしながら後退するこ

とで防ぐことができると考えます。

◎賠償事故

①	12月15日（剪定作業）「接触事故」 作業後に石燈籠が倒れて破損しているのに気づいたもので、会員は心当たりがないとのことであったが、状況から判断し賠償するもの。
②	2月2日（薬剤散布作業）「飛散事故」 樹木の薬剤散布作業中に急に風が強くなり、散布していた薬剤が駐車中の車両に付着し損傷したもの。
③	2月4日（剪定作業）「切断事故」 ケーブルテレビの引込線に気付かず電動バリカンで誤って切断したもの。
④	2月16日（剪定作業）「切断事故」 電動バリカンをオフにしたが余力で動いたため電話の引込線に接触し誤って切断したもの。
⑤	3月22日（剪定作業）「切断事故」 ツタをはさみで切っていたところ、テレビのアンテナ線に気付かず誤って切断したものの。

次に、賠償事故ですが、①の事故は、作業前に庭にある灯籠等の構築物の状況を確認し、異常があった場合は発注者に報告すると同時に門柱や塀、灯籠等の構築物には接触しないよう、細心の注意を払って作業するよう心がけてください。②の事故は、風の向きなどを考慮し、慎重に作業するとともに、飛散防止のシートなどを設置することが必要であったと考えます。また、③～⑤の切断事故については、過去にも類似の事故が多発しています。作業前に引込線の位置を必ず確認し、接触しないよう細心の注意を払い、スイッチを切った後も余力で動くことを認識し、焦らず止まるまで必ず待ちましょう。

◇危険予知・回避について

危険予知は、面積でリスクを評価する。

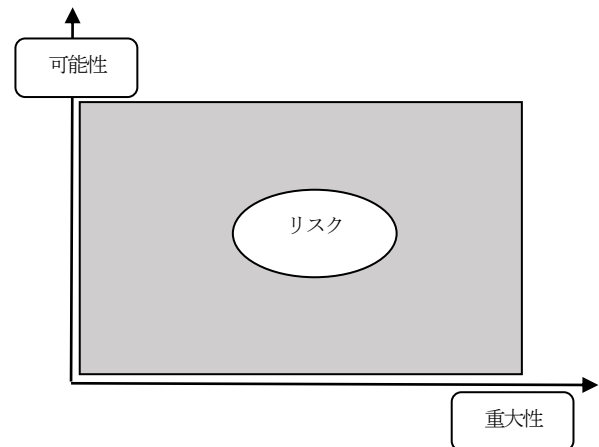
(図①)

危険回避は、可能性と重大性を下げることです。(図②)

例えば、蜂刺され事故を例に考えると、何も対策を講じなければ、図①のリスクがありますが、危険回避をするため肌の露出を少なくすれば可能性は減り、蜂に刺されたことがある人は、抗体検査をして陰性と判断されれば、アナフィラキシーショックによる重篤化は回避されるため、重大性は減り、図②のようにリスクの面積は小さくなります。

このように、草刈作業や剪定作業等でも同様にリスクを面積でとらえ、その面積を小さくし、リスクを軽減するための安全対策に日頃から心がけ、安全就業に役立てましょう。(可能性・重大性を減らしましょう)

図① リスクは面積で予知します



図② 面積を小さくする

